

指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 検 証 調 書 ①

令和 7年 7月 17日

施 設 名	さぬきこどもの国	所在地	高松市香南町由佐3209
施設所管課	香川県健康福祉部子ども政策推進局子ども政策課	施設所管課連絡先	総務・子ども未来応援グループ 087-832-3282
指定管理者名	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団	指定期間	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日

1 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	さぬきこどもの国の管理業務 ・施設の維持管理に関すること ・施設の利用の許可に関すること ・利用料金の収受に関すること ・その他施設の管理運営に必要な事項	県からの委託料	令和3年度 356,016千円 令和4年度 356,250千円 令和5年度 348,201千円 令和6年度 346,393千円 令和7年度 352,695千円
---------	---	---------	---

2 施設の利用状況等

(単位:人)

利用者数 (稼働率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度	44,015	52,749	33,658	29,012	47,069	38,662	55,328	41,638	25,942	33,552	29,771	46,829	478,225
	5年度	39,766	56,452	32,252	33,352	53,433	36,557	48,843	43,283	29,898	37,724	35,914	44,420	491,894
	4年度	33,275	45,015	28,463	30,396	50,581	31,270	45,856	37,593	24,882	31,648	27,947	42,586	429,512
	3年度	22,159	1,000	8,557	32,792	6,832	0	33,700	39,078	25,500	20,257	13,655	22,932	226,462
	2年度	2,516	0	16,099	19,825	28,552	28,797	34,655	36,440	19,902	21,144	26,410	30,616	264,956
	導入前	57,250	107,340	27,990	37,430	72,790	37,230	60,470	50,120	16,060	31,560	23,410	47,410	569,060

(単位:円)

利用料金収入 (使用料)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度	2,161,010	2,200,200	1,697,310	1,174,900	2,235,930	2,062,700	1,858,930	1,776,430	1,125,900	1,552,300	1,362,420	2,327,790	21,535,820
	5年度	2,115,400	2,339,150	1,490,700	1,564,270	2,362,890	1,761,010	2,121,940	1,746,680	1,291,500	1,750,410	1,559,260	2,059,350	22,162,560
	4年度	1,766,750	2,501,650	1,168,600	1,520,660	2,402,420	1,487,950	2,145,850	1,621,850	1,121,600	1,573,200	1,455,250	2,139,010	20,904,790
	3年度	1,156,850	13,100	321,200	1,300,000	247,600	0	1,601,400	1,933,580	1,128,080	1,242,600	612,200	999,810	10,556,420
	2年度	344,500	0	828,600	953,510	1,281,750	1,565,530	1,727,790	1,968,830	992,230	823,750	1,445,400	1,455,150	13,387,040
	導入前	2,150,100	2,694,450	1,463,000	1,507,200	3,231,650	1,680,300	1,796,150	1,465,650	425,150	1,035,300	821,750	1,518,750	19,789,450

3 利用者からの意見への対応

利用者意見の把握方法	ご意見箱の設置、年2～4回の一般利用者と団体利用者のアンケート調査、イベント開催時における参加者の意見の聴取、園内巡回時の職員による意見聴取などにより利用者のニーズを把握し、適切な運営を行っている。また、直営している喫茶コーナーにおいても年2回アンケート調査を行い、利用者ニーズの把握に努めている。
------------	---

利用者からの積極的な評価	
今月のぐう・ちょき・ばぁもとても楽しかったです。おばけの運動会、広いところでみんなで体操したり、特に障害物競争がスタッフさんがしっかり準備をしてくださったんだと感じました。子どもも楽しんでいました。遠いですが、時間をかけてでも来る価値があるなぁと毎回思います。これからも楽しみにしています。	
いつも利用させてもらっています。子どもたちも何回来ても飽きないみたいでとても良い施設だと思います。他県に誇れる場所だと思います。これからもよろしくお願いします。	
科学工房と美術工房は毎回利用させてもらっています。楽しい経験をありがとうございます。これからも子どもの興味・関心を持てるようなイベントをよろしくお願いします。	
15年?ぶりに来ました。全く古さを感じさせることなく、施設は美しく清潔に保たれ、あの頃よりも新しくさえ感じました。スタッフの皆さまの子どもを思う気持ちが見えるようです。とてもうれしく思いました。ありがとうございます。	
旅行でこちらにきました。高松から娘達家族の住む東京へ帰るときに寄らせていただきました。とてもすばらしい施設で内容が豊かでびっくりしました。私は北海道に住んでおり、保育士をしていたので、こんな素敵な児童館が北海道にもできたら、お子さんの成長に豊かな経験ができ素敵だわ!!と心から思いました。このような施設やスタッフの方たちの心遣いが広がることを祈ってしまいました。	
千葉県から来ました。無料なのにたくさんの遊具があって、施設も充実していて素晴らしいです。館内は、広くて子どもたちはたくさん遊べる所があるし、保護者や大人の方が座れる椅子や自動販売機もあって、双方にとって助かる施設だと強く思いました。とても満足です。来て本当に良かったです。ありがとうございます。	
科学工房のテンセグリティ（バランスの工作）に参加したが、とても楽しかったと喜んでた。このような機会に少ない出費で取り組める場があることが、親としてもありがたい。前回のイカの解剖もとてもよかった。また参加したい。	
私の子どもが幼児の頃は、頻繁に来ていました。今日は久しぶりに来館。クラブに参加。幼い頃は、小学4年以上のこのクラブに参加するなんて、遠い未来と思っていましたが、「ついに」って感じました。そして、以前顔見知りだったスタッフの方々が、私とも親子を覚えていてくださっていて、お声がけ下さり、とても温かい気持ちになりました。もう高学年なので、小さい頃とは、違う目線で楽しみたいです。	
わたしは久しぶりにこどもの国に来たら、新しくなっていてうれしいです。ボールのゲームでいっきに3つのわに入ってやったーってなりました。工作はいつもします。（どちらも）いつもくるたびに作る物はかわっているからあきません。やっぱりこどもの国はたのしいです！	
夏休み期間中たくさん利用しました。休館日なく開けてくれてたのはとても助かりました。体験型の遊びやしっかり体を動かす遊びやしっかりと体を動かす遊び、いろいろ遊べて1日があっという間でした。近くなりリニューアルすると記事を見て、とても楽しみにしています。いつも楽しい時間をありがとうございます。娘（2歳）がとても好きなので、毎週来ています。いつもありがとうございます。施設が清潔で楽しい遊具がたくさんあるだけでなく、スタッフの方が優しい笑顔で子どもに接してくれるので、素敵な場所だと感じています。	

利用者からの苦情・要望	対応状況
遊具を増やしてほしい。	屋内遊具を増やすことは建物の構造上難しいですが、わくわく児童館内の遊具については、ここ数年でリニューアルを行いました。また、来年開園30周年を機に、屋外の西ウイングエリアの大型遊具を順次リニューアルしていく予定です。
飲食スペースを増やしてほしい。	飲食場所を増やすことは、スペースの関係上難しい状況です。ご理解下さい。現在、館内には飲食可能スペースが4か所あります。来館者が多い時は、ご不便やご迷惑をおかけすることもあると思いますが、譲り合ってご利用いただけますようお願いいたします。
禁煙なのにタバコが落ちていた。	さぬきこどもの国は西ウイングや駐車場も含め敷地内全面禁煙となっており、看板や館内放送等で禁煙を呼びかけております。それでもなお園内で吸い殻のポイ捨てが見受けられることから、喫煙ゼロに向けて、今年度は、園内で拾い集めた吸い殻を展示するなど啓発活動にも努めています。引き続き、様々な方法での禁煙を呼びかけてまいります。
プールがほしい。	プールはありませんが、児童館前の芝生広場に水遊びができる「ミルキーウェイ」という流水路がありますので、ご利用ください。プール設置の要望につきましては、当園の設置者である香川県にお伝えいたします。
屋外に日陰がないので、非常に危険です。タープ等が欲しいです。	屋外の日除けにつきましては、児童館東側には東屋、東ウイングエリアには休憩棟、芝生広場には木製テールにパラソルを設置するなど、順次対策をしてきました。また、この7月には、児童館東側に新たにテントを1張設置したところです。近年の気温の上昇傾向を踏まえ、館内においては適切な温度調節を図るなど対策を講じているところですが、屋外においても引き続き暑さ対策を講じてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。また、今年度より西ウイングエリアを3つのゾーンに分けて屋外遊具を順次リニューアルする予定であり、それぞれのゾーンには、屋根付き休憩スペースを整備することとしております。
もっと本をおいてほしいです。	いつも本を読んでくれてありがとうございます。3月頃には新しい本の設置を予定しています。ぜひ、いろいろな本を楽しんでください。また、本のリクエストがあれば教えてください。今後の設置圖書の参考にさせていただきます。 ＊わくわく児童館本の設置場所＊ 2階：情報ライブラリー、ギャラリー（本、絵本、まんが等） 1階：スペースシアター前ホワイエ（宇宙や星に関する本や雑誌） 科学工房（科学に関する本、雑誌、図鑑）
いつも楽しく利用させていただいております。館内の利用でフライトシミュレーターの順番を守らない子どもが出てきてしまっています。足型マークなどをつけて頂けると並んでいる列もわかりやすく子ども待ちやすいと思います。どうぞ検討下さい。	早速、フライトシミュレーターの体験を順番に並んで待っていただけるよう、床面に順番待ちの足型マークの表示をしました。これからも何かお困りのことがありましたら、スタッフまでお声かけください。
県外より来ました。とても子どもが気に入り、いろいろな体験を楽しんでいました。唯一なのですが、荷物置き場があれば良いかなと思いました。管理は大変ですが、どうしても大荷物になり、置いてはいけない場所へ置いてしまいますので。	荷物置き場については、インフォメーション横のコインロッカーをご利用下さい。ロッカーに入らない大きな荷物については、インフォメーションでお預かりしておりますので、お申し出ください。

4 管理運営状況の評価

項 目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価	人事課 の評価
適正な管理運営の確保の状況	利用許可	さぬきこどもの国条例、同規則、同管理要綱及びさぬきこどもの国管理規程に基づき、公平かつ平等に利用を許可している。	さぬきこどもの国条例、同規則及びさぬきこどもの国管理規程に基づき、適正に処理されており、関係書類も適正に保管されている。	A
	建物・設備の保守点検及び維持管理	協定書の業務仕様書「施設の維持管理に関する業務の基準一覧」に基づき、法定・任意を含め管理の内容ごとに適切に実施している。	施設管理を専門業者に再委託し、管理責任者1名を常駐させるなど緊密に連携を図りながら、仕様書に定める業務の基準に基づき適正に実施されている。 点検の記録も適正に保管されている。	
	安全性の確保	毎年、専門業者により館内外の展示物・遊具等を定期的に点検し、機能劣化、補修、塗装等の判断基準に基づき、安全対策を実施するとともに、職員による目視・触診・聴診・打診等による安全点検を毎月1回定期的に実施している。点検結果により、使用禁止や修繕など迅速に対応し、事故を未然に防止するための安全対策を実施している。	専門業者の遊具点検有資格者による定期点検や、職員による日常安全点検の実施により、事故の未然防止に適正に努めている。 また、点検結果による要修繕箇所についても、修繕や一時的に使用禁止にするなど、迅速に対応している。	
	物品・備品管理	県からの貸与物品については、管理台帳を作成し、年1回現品照合を行い、適切に維持管理を行っている。指定管理者が取得した物品についても同様に管理台帳を作成し、維持管理を行っている。	県からの貸付物品は適切に管理され、毎年度その管理状況について県に報告されている。 また、指定管理者所有物品についても、県の備品台帳に準じた様式の一覧表を作成して管理されている。	
法令等の遵守等	法令等の遵守	さぬきこどもの国条例、同規則及び協定書のほか、施設運営に係る関係法令を遵守し、適切な管理運営に努めている。	さぬきこどもの国条例、及び同規則に基づき、適切に指定管理業務を実施するとともに、関係法令等が遵守されている。 包括協定書に基づき、毎年度、県の承認を得た上で、適切に維持管理・運営業務の再委託を行っている。	A
	職員配置	業務内容に応じた専門職員を配置し限られた人員で効果的な執行体制をとるとともに、利用者に満足していただけるよう横断的な業務や臨時的な業務に対応するため、グループを超えて組織するプロジェクトチームを設置するなど、質の高いサービス提供に努めている。	児童福祉施設最低基準及び仕様書に定める必要な職員は配置されている。 グループを超えて組織する「プロジェクトチーム」を設置し、部署横断的な業務や臨時的な業務などに柔軟に対処し、利用者のニーズに応えている。	
	緊急時の体制	利用者の安全確保を最優先に迅速な対応ができるよう、管理者・委託業者・県の間で緊急連絡網を作成するとともに、気象情報、火災・地震発生、不審者侵入等危機管理体制をより充実・強化するため、防災訓練、不審者対策訓練、AED等の救急実技講習の受講等を実施している。事故等の発生時には、直ちに県へ報告するとともに迅速に対応している。	緊急時に迅速に対応するため、連絡体制の整備を行っている。 事故発生時や緊急時に対応するため、事案に応じた対応マニュアルによる危機管理体制を整備するとともに、訓練等を実施している。 事故記録は適切に記録・管理している。	
	県の指示事項への対応	県からの指示事項に対しては、迅速に対応し、結果報告を行っている。県とは月例報告のほか、適宜訪問し、運営状況等について報告・協議するなど、連携を図りながら適切に対応している。	県からの指示事項について迅速に、かつ的確に対応している。	

法令等の遵守等	個人情報の保護	個人情報については、協定書に基づき適切に管理を行っている。特に電子データはアクセス権限を制限するなど適切に管理するとともに、使用済みデータについては、速やかに廃棄又は消去している。	個人情報を含む情報管理について、職員に対し研修を実施している。 また、個人情報を含む電子データへのアクセス権は限られた職員のみを与えるなど内規を定め、適切に管理している。情報の廃棄もシュレッターで行うなど適切に実施している。	A	A
労働関係法令遵守の状況	労働関係法令	就業規則の変更、36協定の締結及び労働基準監督署への届出をはじめ、適正な雇用契約の締結や割増賃金の支払、年1回の定期健康診断の実施など労働関係法令を遵守している。	雇入時、労働者に対し、労働条件等を明示した労働条件通知書を交付している。労働者の雇用は、最低賃金を上回る賃金でされている。 就業規程により週の法定労働時間を定めており、36条協定も締結されている。時間外労働に対しては、適切に割増賃金等が支給されている。 定期健康診断も適切に実施されている。	A	A
利用者サービスの維持向上の状況	利用者数の状況	日、月、年毎の利用者数を把握するとともに来園者の意向を踏まえ、効果的な広報や多彩な事業を展開しており、コロナ禍で減少していた令和3年度以降、利用者数は回復している。	利用者数の動向や利用者のニーズを把握して利便性の向上に努めたことで、コロナ禍以降、利用者数は回復傾向にある。	A	A
	利用促進	別紙	〈別紙に記載〉		
	各種事業・プログラムの内容	別紙	〈別紙に記載〉		
	利用者満足度調査	一般利用者と団体利用者を対象として年4回以上実施しているアンケート調査、直営している喫茶コーナー利用者を対象として年2回実施しているアンケート調査、イベント実施時における利用者の意見聴取など、積極的に利用者の満足度の調査を実施し、9割を超える方から非常に満足・満足したとの評価を得ている。	アンケート結果によると、回答者の9割以上の方が「満足」と回答し、高い満足度を示している。		
	苦情等への対応	利用者から直接の苦情や意見（メール・電話も含む）を受けた際は、直ちに必要な対策を取っている。また、ご意見箱に寄せられる意見については、迅速な対応や改善等が行えるよう毎週回収し、回答は月一回、園長・グループリーダー・チーフ以上で協議し、可能なものは直ちに対策を取り、その対応状況等を翌月に館内外3か所に掲示している。	ご意見箱を設置するなど常に利用者の意見を把握する体制を整え、苦情等への対応はプロジェクトチームを中心に迅速に対応している。 苦情等に対する回答を館内外3か所に掲示し、利用者へ具体的な対応状況を公表している。		
	広報、PR、情報提供の実施	当館の情報誌「さぬきこどもの国News」（年6回）やかがわkid'sclub（年3回）発行するとともに、ホームページやフェイスブックでは各種利用案内の他、イベントの開催情報を掲載し、多くの方に情報提供するよう努めている。また新聞・雑誌等マスコミへ情報提供しイベントを紹介していただくなど、様々な媒体でのPR活動に取り組んでいる。また、香川県観光協会運営の「うどん県旅ネット」や高松空港周辺施設連絡会に加盟する近隣施設のホームページ・SNS等にも当園の情報を掲載し、施設PRに努めている。	マスコミへの情報提供・さぬきこどもの国News等様々なメディア・媒体を活用して積極的に情報発信を行っている。 県内の幼稚園、小学校等へ職員が出向き、施設やイベント等について周知を行うなど、積極的にPRを実施している。		

収支の状況	経費節減の取組	計画的に遊具等の修繕を行い修繕コストの圧縮や、工房材料等については企業からいただくなどして経費削減を行っている。また、LED照明器具の導入や空調の効率的運転、照明不要時の消灯等により光熱費の節約に努めている。	LED照明器具の導入や空調の効率的運転等により省エネルギーに努めるだけでなく、施設、遊具等の計画的な修繕により修繕コストを圧縮するなど、経費節減に取り組んでいる。	A	A
	収支の状況の把握	毎月、収支計算書等財務諸表により、収入・支出の状況を確認している。収支決算については監事による監査を受け、県に対して事業報告と財務報告を行っている。	収支計算書等財務諸表により、前年度収支と比較するなど、収支状況を的確に把握している。収支決算は監事による監査を受け、適正に管理されている。		
	会計処理の状況	各種会計処理にあたっては、複数の職員による確認を実施し、定期的に税理士の確認を受けるなど、定められた会計基準に沿った適正な会計事務を行っている。現金、預金通帳、印鑑、貯蔵品等の取り扱いについても金庫で保管するなど厳重な管理を行っている。	各種会計処理にあたっては、複数の職員によるチェックが実施されており、現金、預金通帳、印鑑等の保管状況も適切である。 会計規程に基づき、帳簿等を作成しており、会計事務について適正に処理されている。		

《評価指標》 S：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている。
A：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を実施している。
B：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある。
C：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている。

総 合 評 価	施 設 所 管 課 の 評 価		人事課 の評価
	施設の維持管理は、適正に利用者の安全が確保されており、また、公の施設として平等利用の考えも遵守されており、適正な管理運営の確保がなされている。 また、専門的な職員を配置し、利用者の年齢や興味に応じたサービスが提供されているほか、県内の児童館等の支援を行うなど、児童厚生施設（大型児童館）の役割を果たしている。	A	A

《評価指標》 S：適正であり、優れた実績をあげている。
A：適正である。
B：概ね適正であるが、一部改善を期待する。
C：改善が必要である。

4 管理運営状況の評価 — 利用者サービスの維持向上の状況 — 利用促進

4 管理運営状況の評価

項 目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価
利用者サービスの維持向上の状況	育成事業	【企画事業】 - 企画事業については、実施日数を増やし混雑を回避するとともに、より多くの方に体験してもらえるよう工夫した。 - 一つ一つの企画のイメージにあったチラシを作成し配布するとともに公式HPや公式SNSでも周知した。 - デジタル化が進む中ではあるが、実際に体験することをに重点を置き、子どもたちの五感を刺激し感受性を育むことを意識した事業を計画した。 【工房】 - 音楽工房ミニイベント「ごきげんパーク♪」でスタンプカードを配布した。スタンプが貯まったら手作り楽器をプレゼントするとともに、参加者との関係づくりを心がけながらリピーターの獲得につなげた。 - 小学校高学年以上の子どもを対象としたクラブ活動を実施。より専門的かつ子どもの興味関心が深まるようなプログラムを提供し、工房利用につなげた。 - 中学生の職場体験学習の受け入れについては、地元香南町だけでなく高松市内各所からの依頼を積極的に受け、こどもの国の各部署での業務体験をできるよう調整を行っている。 【スペースシアター】 前期指定管理期間から引き続き、スペースシアターにてスタンプカードを配布した。5個押印のスタンプカードで無料観覧された方も1,000人を超え、スタンプカードが定着している。また、来館者に上映番組をリクエストしてもらう「お楽しみ上映会」を実施したり、家族で楽しめる番組選定に努めたり、ドーム空間を活用した様々なイベントを行うなど利用促進に努めた。	○利用者数増加のために、積極的な情報発信や工夫を行っている。 （園外での事業の実施、マスコミへの情報提供、SNSの活用、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」の制作、「うどん県おもてなしパスポート」等への登録等） ○利用者の利便性向上のために、積極的な工夫を行っている。 （実施回数の増加、ベビーカーや車椅子等の貸出、荷物預かりやタクシーの手配、「かがわWi-Fi」の設置、海外からの利用者向けに翻訳・第三者通話サービスの活用、香川県社会福祉就労センターと連携して弁当等の販売、団体利用時の昼食場所の確保、キャッシュレス決済の導入等） ○リピーターを獲得し、ひいては収入の確保のために積極的な工夫を行っている。 （音楽工房及びスペースシアターでのスタンプカードの配布、小学校高学年以上を対象にしたクラブ活動の実施等） ○利用者の満足度向上のために、積極的な工夫を行っている。 （個人及び団体向けにアンケートを行い、それを基に業務改善している）
	支援・啓発事業	【アウトリーチ活動】 - 地域の子育て団体や企業が主催するイベントに出向き、遊びを提供しながら当館の活動紹介を行った。その他、当館から離れた地域で開催する遊びの広場「動く！あそびパーク」において、当館の活動を積極的にPRし、来園者の新規開拓に努めた。 【ネットワーク事業】 - コロナ禍から引き続き臨時休園の時期を中心に、おうち時間を楽しめる工作などを紹介するため「レッツ！おうちあそび」という動画を作成した。YouTubeで配信し、来園できない状況でも遊びを楽しめるように工夫した。 【子育て支援】 - SNSを活用し、「親子であそぼ！ぐうちよきばあ」や「かそく・ツナグ・あそび」などのイベント告知を行った。特に「親子であそぼ！ぐうちよきばあ」では、アンケート結果を踏まえ参加者のニーズに沿ったプログラムを計画し、具体的な内容をSNSに掲載したことで目的をもって参加してくれる方が増え、参加者増につながった。	
	広報施設PR	【イベント情報】 - 各マスコミに向け、イベント等の情報提供を迅速に行った。 - また、企画についてより詳細な情報をまとめたプレスリリース資料を作成し、イベントチラシとあわせて情報提供を行った。 - 子育て世代やイベント対象者のもとに適した情報が届くようSNS広告を活用した。 【施設の認知度向上】 - 高松空港周辺施設連絡会事務局（香川県園芸総合センター、香南アグリーム、さぬき空港公園、さぬきこどもの国、高松空港(株)の5施設で構成）を運営し近隣施設間での情報共有を行うとともに、施設間を周遊する合同イベントの開催を行う等、集客を目的とした周辺地域一体の協力体制をつくるとともに、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」（日本語：2万部、英語、繁体語、簡体語、韓国語各5千部を発行）を作成し、高松空港や高松駅、高速道路のサービスエリア、加盟施設のホームページ等にこれを掲載する等、さぬきこどもの国の施設PRに努めた。 - 香川県観光協会に加盟し、観光協会が運営するウェブサイトや海外向けFacebookに当園情報を掲載し、大型児童館であると同時に香川県内有数の観光スポットとして、県内外・海外に向けて広く施設PRを行った。	

利用者サービスの維持向上の状況	利用促進	利用者サービスの向上	【インフォメーション】 ・ベビーカーや車いす、遊具の貸出しを行ったり、利用者アンケートで要望が多かった物品の販売や外国人対応（荷物預かりやタクシー手配等）を行ったりして、多様化する利用者ニーズに迅速に応えられるよう努めた。また、一般来園者や団体利用者が記念撮影をする時に使用する日付パネルを設置したり、よく尋ねられる「本日のイベント」については、来館者がわかりやすいよう工夫を凝らして情報提供に努めた。 ・利用者にとって必要な情報や災害発生時の緊急情報等を迅速に取得できるよう、インフォメーションに「かがわWi-Fi」を設置した。 【香川県観光協会への加盟】 ・大型児童館であると同時に香川県内有数の観光スポットであり、県内外だけでなく海外からの利用者も増加しているため、香川県観光協会に加盟施設が利用できる翻訳・第三者通話サービス等を活用し、海外からの利用者をスムーズに受け入れられるようにした。 【「うどん県おもてなしパスポート」等の協力店への加盟】 ・香川県が発行する「うどん県おもてなしパスポート」「瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞パスポート」の協力店として喫茶コーナーKuniCafeを登録し、幅広い世代への認知向上に努めた。 【利用者満足度の向上】 ・利用者アンケートを年2～4回実施して施設運営の参考にするとともに、来園者ニーズの把握と職員の課題認識の形成、及び、業務改善に努めた。 ・公共施設として香川県や高松市等の観光やレジャーに関する情報、また、近隣施設のイベント情報等をインフォメーションや館内に掲出し、利用者への情報提供の充実を図った。 【地域との連携】 ・夏休みのラジオ体操の地域開催が減っていることから、香南地区子ども会と育成連絡協議会の地域団体と連携し、夏休み期間中の平日9時30分から当園で実施し、平日利用促進を図った。 ・「かがわ山なみ芸術祭」出展作家による作品展示や東かがわ市のフォトコンテスト入賞作品の展示等を行い、幅広い年代の利用促進を図った。 ・香川県社会就労センター協議会と連携し、弁当やパン、焼き菓子や野菜等を来館者に提供する機会を設けた。	○利用者数増加のために、積極的な情報発信や工夫を行っている。 （園外での事業の実施、マスコミへの情報提供、SNSの活用、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」の制作、「うどん県おもてなしパスポート」等への登録等） ○利用者の利便性向上のために、積極的な工夫を行っている。 （実施回数の増加、ベビーカーや車椅子等の貸出、荷物預かりやタクシーの手配、「かがわWi-Fi」の設置、海外からの利用者向けに翻訳・第三者通話サービスの活用、香川県社会福祉就労センターと連携して弁当等の販売、団体利用時の昼食場所の確保、キャッシュレス決済の導入等） ○リピーターを獲得し、ひいては収入の確保のために積極的な工夫を行っている。 （音楽工房及びスペースシアターでのスタンプカードの配布、小学校高学年以上を対象にしたクラブ活動の実施等） ○利用者の満足度向上のために、積極的な工夫を行っている。 （個人及び団体向けにアンケートを行い、それを基に業務改善している）
		団体利用	【ニーズの把握】 ・遠足や校外学習での来園が多い春と秋の年2回「団体利用アンケート」を実施し、団体利用者ニーズの把握に努め、受付業務等の改善に努めた。 【混雑の予防と昼食場所の確保】 ・雨天時の昼食場所が以前より課題だったが、それに加え、昨今は高温日が増加したことによる雨天時以外の日の昼食場所の確保も課題となっている。そのため、雨天時、高温日、低温日、強風日等、天候に関係なく利用できる昼食場所の確保として、研修室とこども劇場を開放した。 ・コロナ禍後は団体が密接や密集を避ける傾向にあるため、特に雨天時に館内や昼食場所の混雑を防ぐため、一日1000人から500人に予約上限人数を変更し、団体がゆとりをもって楽しく過ごせるよう努めるとともに、予約が集中した場合は別日を案内する等、利用促進に努めた。	
		自主事業	【喫茶コーナー】 ・キャッシュレス決済を導入して利用者の利便向上に努めるとともに、釣銭金の両替に必要な手数料の削減に努めた。 ・物価高騰が続く中、「お子さまランチ」等の子ども向けメニューの価格維持に努めるとともに、その他のメニューについても大幅な値上げをせずに済むよう使用する材料を見直した。 【自販機】 ・園内自販機28台のうち、飲料自販機12台とアイスクリーム自販機4台についてはキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上に努めた。また、利用者ニーズから、自販機業者と連携してノンカフェイン飲料、果汁100%飲料、スポーツドリンク飲料の設置数を増やした。 【物販】 ・キャッシュレス決済を導入するとともに、要望の多かった子どもの着替え（下着・衣服）の販売、加えて、近隣施設等ではなかなか購入できない商品（土産物）を取り揃え、利用促進に努めた。	

4 管理運営状況の評価 — 利用者サービスの維持向上の状況 — 各種事業・プログラムの内容(育成事業)

4 管理運営状況の評価

項 目	細項目		指定管理者による自己評価	施設所管課の評価
利用者サービスの維持向上の状況	各種事業・プログラムの内容（育成事業）	企画事業	令和2年～令和4年はコロナ禍の休園に伴い、イベントが中止になることが多数あった。そのような中でも、実施方法をオンラインに変更したり、参加者数を変更したり、屋外を活用したり3密を避けて実施した。また、大型イベントは令和5年度にコロナ禍以前より規模を縮小した形で再開した。令和6年度以降は、コロナ禍以前の規模に戻しつつ実施回数も増やしている。 イベント内容は、令和2年度にリニューアルした展示遊具やシアターを活用したイベント等、宇宙や科学技術への興味関心の幅を広げる企画事業を実施。また、コロナ禍を経てデジタル化が進む中ではあるが、実際に体験することで子どもたちの五感を刺激し感受性を育む企画を実施した。NPOなど地域団体や企業との共催企画、JAXAとの連携企画、スペースシアターを活用した企画、中高生の活躍を応援する企画、防災をテーマにした企画など、様々な分野に挑戦し取り組んでいる。	○コロナ禍では事業の実施に様々な制限があったが、それでもその時に出来ることを模索してしっかりと事業を行った。 ○企画事業については、団体、企業等との共催事業や様々なテーマの企画を行い、幅広く子ども達の感受性を育む事業を行った。 ○スペースシアターについては、幅広い年齢を対象に、それぞれの年齢に応じたプログラムを実施するなど、利用者の興味や年齢に応じた事業を実施することで、利用促進につながっていると考えられる。 ○各工房や各スペースでは、様々な創作活動や遊びを通じてより創造性を伸ばすプログラムの提供に努めている。 ○屋外施設については、サイクルセンターの運営のほか、琴電車両やYS-11型航空機の展示等、他の施設との差別化により、また、利用者の増加に寄与している。
		スペースシアター事業	令和2年度～令和5年度5月までは、コロナ禍に伴い、3密を避けるため座席数を減らして番組上映を行った。コロナ禍も通常の番組上映に加え、生解説をメインとした「全国一斉熟睡ブラ寝タリウム」、乳幼児親子がプラネタリウムデビューとして楽しめる「キッズプラネタリウム」、音楽と星空の映像を楽しむ「ミュージックプラネタリウム」など、スタッフによるオリジナルプログラムの提供に取り組んでいる。また、スペースシアターを多目的に活用するため、講演会や生演奏コンサートなども実施した。	令和6年から西ウイングエリアの屋外遊具リニューアルが始まり、令和7年3月には第一弾となる「木製アスレチックゾーン」が完成した。今度も2か年にかけてリニューアルが予定されており、今後利用者の増加が期待される。
		工房等運営事業	各工房では、活動を通して子どもたちの自主性や創造性を発揮できるプログラムや、新たな発見ができるようなプログラムの開発・提供をしている。持ち帰りができる工作プログラムだけでなく、展示物の設置を通して、錯視を体験したり標本を観察したりできる「展示・体験プログラム」を新たに実施するなど、様々な角度から美術・科学・音楽を楽しめるプログラムを提供した。その他、子どもたちが安全に、また、より活動に集中できるよう、工房内の環境づくりにも努めている。	
		こども劇場運営事業	企画事業・音楽工房のイベントの他、子育て支援事業やボランティア企画など自館のイベントを効率よく組み込み、劇場スペースを有効利用するとともに、貸館事業として劇場の貸出しを行っている。	

利用者 サービスの 維持向上の状況	各種事業・ プログラムの 内容（育成事業）	「科学体験ゾーン」 等運営事業	主に空をテーマとして、航空機の操縦が体験できる遊具や展示物のある「科学体験ゾーン」及び宇宙をテーマとした展示や遊具、木の温かみに包まれる乳幼児向けの遊び場などを設置している「遊びゾーン」では、自由に各種の遊具や科学体験装置などを利用できるよう配置するとともに、展示物の適切な維持管理など環境整備に努めている。	○コロナ禍では事業の実施に様々な制限があったが、それでもその時に出来ることを模索してしっかりと事業を行った。 ○企画事業については、団体、企業等との共催事業や様々なテーマの企画を行い、幅広く子ども達の感受性を育む事業を行った。 ○スペースシアターについては、幅広い年齢を対象に、それぞれの年齢に応じたプログラムを実施するなど、利用者の興味や年齢に応じた事業を実施することで、利用促進につながっていると考えられる。
		企画展示 運営事業	ギャラリーでは、2～3か月ごとにテーマを設け各種展示を行っている。テーマについては来館者が興味を持って見ることができるよう、参加型の展示や地域の伝統行事、さぬきこどもの国の事業の紹介などを取り上げた。また、令和5年度からは、児童福祉文化賞の普及啓発の一環として受賞作品（出版部門）を紹介した。来館者が好きなページを紹介するなど、本を手に取りたくなるよう展示方法の工夫を図った。	○各工房や各スペースでは、様々な創作活動や遊びを通じてより創造性を伸ばすプログラムの提供に努めている。
		屋外施設 運営事業	サイクルセンター業務については、毎年8～9万人（コロナ禍の令和3年度を除く。）の利用者があり、当園で一番利用者数の多い施設となっている。また、YS-11航空機展示についても、年平均約5～6万人（コロナ禍の令和3年度を除く。）が利用し、サイクルセンターに次ぐ集客力を誇っている。 いずれも天候の変化等に臨機に対応し、できるだけ多くの来園者に利用してもらえるよう運営している。	○屋外施設については、サイクルセンターの運営のほか、琴電車両やYS-11型航空機の展示等、他の施設との差別化により、また、利用者の増加に寄与している。 令和6年から西ウイングエリアの屋外遊具リニューアルが始まり、令和7年3月には第一弾となる「木製アスレチックゾーン」が完成した。今度も2か年にかけてリニューアルが予定されており、今後利用者の増加が期待される。

4 管理運営状況の評価 — 利用者サービスの維持向上の状況 — 各種事業・プログラムの内容(支援・啓発事業)

4 管理運営状況の評価

項 目	細項目		指定管理者による自己評価	施設所管課の評価
利用者サービスの維持向上の状況	各種事業・プログラムの内容(支援・啓発事業)	児童館運営支援事業	児童館ガイドラインが改正され(H30、R6)、大型児童館の役割が明確化されている。県内児童館の情報把握及び、児童館相互の連絡、連携を密にし、児童館活動の機能性を向上、充実を図るという観点から、各児童館への情報提供だけでなく、地域の児童館と協働して行う事業「じどうかん企画会議」「JUMP-JAM」を実施。児童館の更なる充実に向けて今後も取り組んでいく。	○香川県児童連絡協議会の事務局を円滑に運営し、大型児童館として、県内児童館職員の研修や県内児童館向け情報提供等を実施している。 ○情報誌や子育て支援情報誌の発行に加え、SNSも駆使し、さぬきこどもの国の認知度向上に加え、子育て世帯への情報発信に努めている。 ○専門家や地域団体と協力しながら、保護者が気軽に相談できる場の提供に努めており、育児支援を行っている。 ○「うごく！あそびパーク」や遊びの宅配便事業等、遠方でのイベントを実施することで、気軽にさぬきこどもの国に來れない地域に居住している親子にも遊びの提供や「遊びの大切さ」の啓発に務めた。
		組織化事業	県内に在住する高校生以上を対象に登録ボランティアの受け入れを行っている。企画立案や工房サポートなど個々に合わせた活動ができるようサポートするとともに、新規登録者が活動に参加しやすい環境づくりに努めた。また、資質向上を目指し、子どもとかかわるボランティアとして必要な知識を習得するとともに、ボランティア相互の交流を図るための研修会を実施した。令和7年3月末現在登録者は95人。	
		広報啓発事業	自館のイベントや事業について分かりやすく紹介した情報誌「さぬきこどもの国News」を偶数月に発行し、県民に広く周知している。定期的に配布先の見直しを行い、子育て家庭への情報発信にも努めている。また、令和3年7月より公式Instagramを開設した。HPに加え、SNS（Instagram・フェイスブック・YouTube）を活用し迅速に子育て情報の提供を行っている他、自館の取り組みについても広く周知している。また、子育て支援情報誌「かがわkid'sclub」を年3回発行し、その中でさぬきこどもの国のイベント情報等を掲載するなど、PRを行っている。	

利用者サービスの維持向上の状況	各種事業・プログラムの内容（支援・啓発事業）	調査研究・情報提供事業	令和3年度はコロナ禍の休館中に、さぬきこどもの国を紹介する動画を制作し公式ホームページ内で公開した。 令和4年度に公式HPを大幅リニューアルした。スマートフォンでも見やすいようレスポンシブデザインを採用した。さらに、令和5年度には「かがわの児童館」のページもリニューアル。県内の児童館情報を掲載し、情報提供に努めている。 令和5年度には、家庭でもさぬきこどもの国の遊びが楽しめるよう、身近な材料でできる遊びのプログラムを掲載した「あそびのポッケ」を発行した。	○香川県児童連絡協議会の事務局を円滑に運営し、大型児童館として、県内児童館職員の研修や県内児童館向け情報提供等を実施している。 ○情報誌や子育て支援情報誌の発行に加え、SNSも駆使し、さぬきこどもの国の認知度向上に加え、子育て世帯への情報発信に努めている。 ○専門家や地域団体と協力しながら、保護者が気軽に相談できる場の提供に努めており、育児支援を行っている。 ○「うごく！あそびパーク」や遊びの宅配便事業等、遠方でのイベントを実施することで、気軽にさぬきこどもの国に来れない地域に居住している親子にも遊びの提供や「遊びの大切さ」の啓発に努めた。
		相談事業	助産師や栄養士、臨床心理士に気軽に相談できる場を提供した。必要に応じて関係機関につなげるなど、保護者の子育てに関する不安や悩みを軽減できるよう適切に対応している。その他、地域団体との共催で「助産師のほっと相談室」や「ペアメンcafe」などを開催。幅広い内容の相談に対応できるよう地域団体とも協力しながら、悩みの解消、親子の良好な関係づくりに努めた。	
		ネットワークづくり事業	当館から離れた地域で開催する遊びの広場「動く！あそびパーク」では、児童館の存在意義や活動をPRし、児童館の利用促進と遊びの普及を目指した。今回初めて県内の児童館と一緒に当事業を行い、遊びの提供や地域の児童館の活動紹介を行った。工作や運動あそびなどを通して、地域の児童館のことを知ってもらう良い機会になった。 「遊びの宅配便」「遊びについて考える会」など、県内全域を対象とした事業の実施も積極的に行い、子どもだけでなく、子どもにかかわる大人にもアプローチすることで「子どもの遊びの大切さ」の普及・啓発に努めた。	
		子育て支援事業	様々なカードボードゲームが楽しめる「だんらんtime」や県内の大学と協働で遊びを考えて実施する「はぐくみ×カレッジ」は、当イベントを目的に来館する親子がおり、イベントの定着が伺える。	